

第2回 障害者施策推進協議会

(注)委員の意見は提出された書面を基に事務局で整理したもの。

1	第6期岩手県障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画最終案について	委員名	回答(案)
	多様な障がいに対する支援について(P6) 発達障がい者以外の障がいについてもピアサポーター活動(育成のための研修、活用等)を当事者、家族、支援者対象として支援していただきたい。	阿部徳乃委員	障がい者のピアサポートとしては、市町村が配置する身体障害者相談員、知的障害者相談員が、障がい者や家族が有している様々な経験や情報を活かし、身近な地域で当事者や家族の目線に立った相談活動を行っており、県で、相談員に対する研修を行っています。 御意見につきましては、事業実施の際の参考とします。
	(資料1-3 P14 4(1)関連) 「計画相談」における必要なサービス見込量確保のための方策のうち、基幹相談支援センターの設置促進が挙げられていますが、具体的にはどのような動き方をイメージされているものなのか教えていただきたいです。 基幹(県内)の状況は地域により様々で、今後、活動状況について客観的な検証が必要ではないかと思っています。	高橋真紀子委員	県では、県内の基幹相談支援センターによる連絡会に引き続き参加し、各センターの取組状況や課題などを確認のうえ、未設置市町村に対する助言等の支援を行っていきたくと考えております。
2	第5期岩手県障がい福祉計画に係る令和2年度上半期実績について	委員名	委員名
	今期は、コロナ禍の中様々な制限がありましたが、これを機に新しい生活様式に向けた計画への足がかりとしていただきたいと思います。	阿部徳乃委員	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、十分な感染防止対策を前提として、利用者に必要な各種サービスが継続的に提供される必要があります。 今後、計画に掲げるサービス等の見込量の達成状況について、新型コロナウイルス感染症の影響も含め、評価、分析を行うとともに、委員の皆様のご意見を伺いながら、必要な施策を検討していきます。
3	令和2年度障がい者団体との意見交換会(書面開催)について	委員名	委員名
	たくさんのご意見の中、ていねいに回答されていると思います。どのご意見も日々の生活の中で必要とされている生の声だと思います。手帳のないみえない障害の方たちの声もすくい上げていただきたいと思います。	阿部徳乃委員	令和2年度の意見交換会は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、書面開催としました。 意見交換会は、障がい児・者のニーズに即した施策を推進していく上で重要な機会ですので、継続して実施していきたいと考えております。
4	令和3年度障がい児・者に係る主要事業について	委員名	委員名
	オリンピックに係る事業も大事ですが、日々の生活における地域格差の少ない、安心して生活していける環境づくりをお願いいたします。	阿部徳乃委員	障がい児・者が身近な地域で必要な支援を受けられるよう、地域間格差の解消を県の基本方針としながら、必要な施策を検討していきます。